

News Release

JA 共済事業における JA の事務負荷軽減に向けた取組状況について

JA 共済連（全国共済農業協同組合連合会）は、平成 26 年 7 月 24 日付ニュースリリース（No. 26-8）にてお知らせした JA の事務負荷軽減について、着実に取組みを進めております。これまでの具体的な取組状況は以下のとおりです。

1. 事務・電算システムの見直しについて

- ① JA の事務負荷軽減および利便性向上に向けて、平成 28 年 4 月より、生命総合共済の新契約申込手続きにおいて、タブレット端末（愛称「Lablet's（ラブレッツ）」）を活用した契約申込手続きのペーパーレス化や、初回共済掛金の口座振替の実施等によるキャッシュレス化を導入しております（参考 1 参照）。

全国の生命総合共済新契約件数、約 155 万件のうち約 50 万件のご契約（平成 29 年 3 月 27 日時点）が、ペーパーレス手続きによりご加入され、多くの契約者の皆さまにご利用いただいております。

- ② 平成 29 年 4 月からは建物更生共済、平成 29 年度下期からは自動車共済についても、契約締結時のペーパーレス化、キャッシュレス化を展開し、さらなる利便性の向上と JA の事務負荷の軽減を図ってまいります（参考 2 参照）。

2. JA と連合会の業務分担の見直しについて

JA の業務負担の軽減と契約者対応力の強化に向けて、JA と協議のうえ自動車損害調査業務における JA と連合会の業務分担の見直し（JA の損害調査業務を連合会へ移管）に、順次取り組んでおります。平成 28 年度末までに 118 JA が体制移行し、平成 29 年度中に 82 JA（平成 29 年度末に累計 200 JA）の体制移行を予定しております。

3. J A 共済連組織の再編による J A 支援機能の強化について

専門性向上や効率的な事業運営体制の確立に向けて、平成 27 年 10 月より生命査定機能を、平成 28 年 10 月より引受審査機能を全国 8 箇所の業務センターへ集約し、県域を越えた連合会機能の集約に取り組みました。

これらの連合会機能の集約によって、J A 支援機能を担う体制を強化し、J A の状況に応じた指導・サポートを実施する態勢の構築に取り組んでおります。

以 上

<参考1> ペーパーレス手続きの主な特長

◇ 特長1 ご契約者さまの利便性の向上

大きな画面と大きな文字でお手続きいただけることで、契約関係者の皆さまからもよろこばれております。

また、お申込み手続き時に必要な項目をその場で確認ができるようになったことで、これまでの書類不備に伴う追加の確認など所要のご対応も軽減しました。

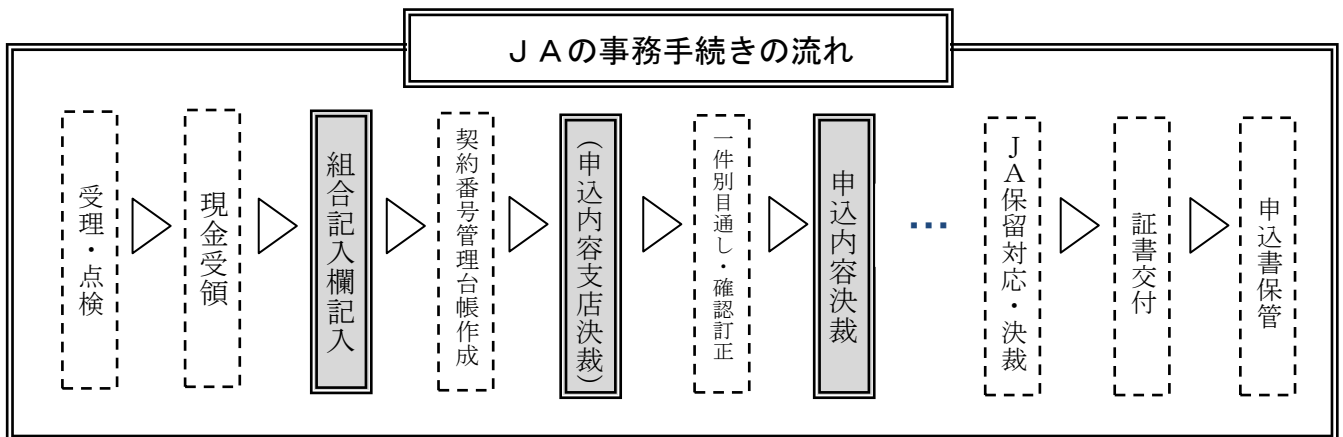
さらに、複数の契約に同時にお申込みいただく場合には、住所などの同じ内容を複数回記入する必要がなく、1回の電子サインでお申込みを受付できるようになり、お申込手続きの利便性が向上しました。

◇ 特長2 JAの事務負担軽減

JAにおいては、ペーパーレス手続きにより、申込書のデータ化に伴う業務、書類整備や不備に伴う業務などが軽減しました。

また、キャッシュレス手続きにより、現金受領に伴う業務が軽減しました。

【JAの事務負担軽減イメージ】



※ 生命総合共済（告知書扱い）の契約申込手続きのイメージです。

※ [---]印の業務は、ペーパーレス手続きおよびキャッシュレス手続きの場合に、書面的手続きと比べて事務処理時間が短縮または不要となり、JAの事務負担軽減が図られる業務です。

＜参考2＞ ペーパーレス手続き・キャッシュレス手続きの導入スケジュール

導入時期（予定含む）	内 容
平成 28 年 4 月	・ 生命総合共済新契約のペーパーレス、キャッシュレス
平成 29 年 4 月	・ 建物更生共済新契約のペーパーレス、キャッシュレス
平成 29 年度下期	・ 自動車共済新契約・異動手続きのペーパーレス ・ 自動車共済新契約のキャッシュレス
平成 30 年度以降	・ 生命総合共済、建物更生共済異動手続きのペーパーレス など